

研究に関する情報公開

＜人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針＞に基づき、研究の実施について情報を公開します。

★本研究に関するご質問等がありましたら下記の＜お問い合わせ窓口＞までご連絡ください。

★ご希望があれば、他の研究対象者※の方の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧いただくことができます。

★試料・情報が当該研究に用いられることについて、研究対象者若しくは研究対象者の代理人の方にご了承いただけない場合には試料・情報を使用いたしませんので、その際は下記の＜お問い合わせ窓口＞までご連絡ください。その場合でも、研究対象者の方に不利益が生じることはありません。

＜研究課題名＞

進行肺癌治療における免疫微小環境関連バイオマーカーの探索

＜研究機関・研究責任者名＞

日本大学医学部附属板橋病院・呼吸器内科 准教授 清水 哲男

＜研究期間＞

機関の長の初回許可日 ～ 令和 9 （西暦 2027 ）年 3 月 31 日

＜対象となる方＞

2017年4月1日から2024年10月31日の期間に日本大学医学部附属板橋病院で原発性肺がんとして診断され、免疫チェックポイント阻害薬を受けた患者さんで、オプトアウト公開後に十分な理解のうえ、患者様ご自身の自由意思による同意撤回がない方が対象となります。

＜研究の目的＞

本研究の目的は、肺がんの腫瘍免疫微小環境に基づいて新たなバイオマーカーの探索を行うことです。腫瘍免疫微小環境とは、がん組織における、がん細胞とがん細胞の周りの免疫反応に関わる様々な細胞とが作る複雑な環境のことを指します。近年、免疫チェックポイント阻害薬が開発され、長期的な効果を期待できるようになりました。しかし、現状では効果を予測できる十分なバイオマーカーが存在しません。本研究ではすでに気管支鏡等で採取された肺がん組織検体を用いて様々な免疫染色を行い、腫瘍免疫微小環境に関連する新たな免疫チェックポイント阻害薬治療のバイオマーカーを探索します。

＜研究の方法＞

電子カルテを用いて、患者さんの身長・体重などの基本情報や血液検査・画像検査などのデータを匿名化して収集します。また診断時に採取された肺がん組織検体を用いて、様々な腫瘍免疫微小環境に関わるバイオマーカーの測定を行い、治療の有効性や予後因子などを検討します。

＜研究に用いる試料・情報の項目＞

・研究に使用する試料

診断時に採取された肺がん組織検体を用います。

・研究に使用する情報

電子カルテに基づいて情報を収集します。具体的には年齢、性別、身長、体重、基礎疾患、入院歴、服薬歴、心電図、心エコー、血液検査、尿検査、画像検査(X線フィルム、CT画像、MRI画像、内視鏡検査画像、PET-CT画像等)、病理検査結果、がんのステージ、治療内容などの情報にあたります。すべての情報は匿名化され、個人が特定されないように管理されます。調査研究の成果は、学会や科学専門誌などの発表に使用される場合がありますが、名前など個人を特定するような情報が公開されることはありません。

＜お問い合わせ窓口＞

日本大学医学部附属板橋病院

〒173-8610 東京都板橋区大谷口上町 30-1

呼吸器内科 清水 哲男

電話：03-3972-8111 内線：(医局) 2402 (PHS) 8023

※研究対象者とは、以下に該当する方（死者を含む。）を指します。

①研究を実施される方

②研究に用いられることとなる既存試料・情報を取得された方